

月曜日

17

きょうのみことば

出 2:1~10

その子が大きくなったとき、
 女はその子をパロの娘の
 もとに連れて行った。
 その子は王女の息子に
 なった。彼女はその子を
 モーセと名づけた。
 彼女は、「水の中から、
 私がこの子を引き出した
 のです。」と言った
 からである。(10)

むずかしい問題は 大きな答えのチャンス

有名な芸能人だけではなく、前の大統領まで自殺をしました。また、
 たくさんの企業がつぶれて、経済危機が来ました。北朝鮮では、
 核兵器の実験をして、多くの国ともめています。このような問題が
 多い世の中を、私たちはどのように生きていかなければならないの
 でしょうか。

1. もっと深刻化する世の中の問題

世の中で起きることに対して、まったく関心がなかったり、反対に軽
 く見たりしてもいけません。世の中の問題を事実に見て、世の中
 を生かせる霊的な力と実力を少しずつ準備していかなければなり
 ません。

2. もっとも重要な事実を知らない世の中

とても力があるように見える世の中ですが、おそれないでください。
 目に見えませんが、神様の子どもには、すばらしい霊的な背景があ
 ります。神様がいつもともにおられ、主の天使が私たちを保護しま
 す。神様の子どもが祈る時、驚くことが起きます。それで、サタン
 はこわがって、ぶるぶるふるえながら逃げます。

3. 霊的な力を得てこそ生かせる世の中

ニュースや新聞を見れば、神様を知らない人々がさらに成功してう
 まくいくように見えます。しかし、はでに見える世の中に揺れずに
 福音のメガネをかけて、よく見つめてみてください。事実はそうで
 はありません。今日、祈りの奥義を味わいながら、霊的な力を受け
 ましょう。レムナントだけが神様がくださる答えで世の中を生かす

愛の神様、この世の問題の中で神様が隠しておられる答えを見つけることができるように霊的な目
 を開いてください。霊的な力と実力で、この世の問題を解決するレムナントの祝福を受けますよう
 に。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



わたしをこ 私を越えるようにさせた

しょうがくせいしんがくいん
小学生神学院

わたし、まいしゅうどようび
私は毎週土曜日になると、神学院に行くか、友だちの誕生日パーティーに行くかとなやんだ。はじめは、友だちの誕生日パーティーに行かないことがざんねんだったが、このごろは、神学院に行かない土曜日が長く感じる。まだ理解できないみことばもあって、定刻祈りと<子どもの祈りの手帳>がうまくできないし、また、世の中はとても大きくて強く見えるが、神様は私を世界福音化するレムナントとして呼ばれたというみことばを聞きながら、私は毎日、勇気をもらう。

神学院に通いながら、私をもっとも恵みを受けた時間は、祈りの手帳作成法の時間だった。先生が祈り手帳活用法についてくわしく知らせてくださり、私が理解できない内容もわかりやすく説明してくださったからだ。

今回の休みには、祈り手帳で一日をはじめ、一日を終わるようにする習慣を身につけるように努力してみる。また、よく病気になるって、薬物酔いもよくする体質なので、休みの間、運動も着実にして、食べ物もすききらいなく食べて、ヨセフのように、ダビデのように、神様に用いられ、みことばの答えを味わう、世を生かすレムナントになりたい。

からだが病気でできないことがないように、みことばをにぎって挑戦する。家系の問題で私たちの家庭をつかんでいる暗やみの勢力と霊的戦いをして、かならず勝利するつもりだ。

文_パク・ジュンソブ ハマンカヤ小学校5年、咸安(ハマン)タラッパン教会

火曜日

18

せんそう いの 戦争を終わらせる祈り

世界の歴史をよく見ると、1万6千以上の戦争がありました。戦争は、よくない考えを持っている指導者や、おたがいに合わない理念と思想のためにおきるのです。しかし、聖書を見ると、預言者サムエルが生きている間、戦争は終わったということです。

きょうのみことば

出 17:8~16

モーセは祭壇を築き、それをアドナイ・ニシと呼び、「それは『主の御座の上の手』のことで、主は代々にわたってアマレクと戦われる。」と言った。(15-16)

1. 戦争はサタンの戦略です

友だちとけんかすることはありますか。レムナントは、もう、そういうけんかではなく、やみの世の中の支配者と、天にあるもろもろの悪霊と戦う本物の戦いをしなければなりません。これを霊的戦いと言います。福音を防ぐ理念と思想、国家観はみなサタンの戦略です。

2. 祈りは強力な霊的な武器です

モーセは、アマレクと戦っているイスラエルの民をおいて山頂にあって、手をパツとあげました。すると、イスラエルの民が勝ちはじめました。しかし、手をおろすと、アマレクが勝ちはじめました。これは、なんの話でしょうか。ひとりの祈りが、このように大きい力があるということです。祈りは、何よりも強力な霊的な武器です。それで、福音を持った人々がいっしょに祈るとき、みわざがおきます。

3. 神様は祈るレムナントを用いられます

モーセが手をあげていたので戦争で勝ったわけではありません。福音を知っている人の祈り、伝道の奥義を味わう伝道者の祈りだったから勝ったのです。神様は、レムナントをモーセのように、時代の指導者として準備させようと思っておられます。今日から国家と民族と世界を抱いた祈りで、全世界の災いをふせぐ福音の主人公になりましょう。

神様、レムナントらしく、祈りの武器をもって、行くところごとに勝利の旗をたてることができるように祝福してください。福音を持って霊的な戦いをする強い兵士として用いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

★定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



水曜日

19

きょうのみことば

ローマ 5:12~21

こういうわけで、ちょうど一つの違反によってすべての人が罪に定められたのと同様に、一つの義の行為によってすべての人が義と認められて、いのちを与えられるのです。(18)

ほろびと救いの代表的原理

アナウンサーが大きな声を出しました。「ゴール！ゴール！ゴール！ゴールしました！」その声に、私はピョンピョンはねて喜びました。とうとう、日本が2010年ワールドカップに出場するようになったのです。でも、私がなぜそんなに喜ぶのでしょうか。サッカー代表チームが、私の国の代表だからです。

1. ひとりによって罪と死がすべての人に入ってきました

なぜ苦しいことが次々に起こるのでしょうか。アダムが創造される前に、暗やみ・混とん・むなしさがあって、サタンがいました。サタンは、アダムを誘惑して罪を犯すようにさせました。これによって、すべての人がサタンの権威の下にいるようになったのです。ここからぬけ出そうと努力しても、どんだんのろいと災いがのぞみます。ひとりの犯罪で、すべての人が罪の中に入ようになったのです。これが代表的原理です。

2. ひとりの義と認められる行いによって、多くの人義と認められるようになりました

救いも代表的原理が適用されます。アダムの子孫でなく、罪がない義と認められるひとりが、約束のとおり十字架で死んで復活しなければなりません。その方が、イエス様なのです。私たちが、この義と認められるための死(神様に会う道を開けてくださった)と、よみがえりの契約を信じて、まことのいのちを得るようになりました。

3. 私は神様が立てられた王の子ども!

アダムの犯罪のために、罪が王の役割をしていました。しかし、イエス・キリストによって、霊的な問題が完全に解決されました。すべてののろいからぬけ出して、万王の王である神様の子どもになりました。神様の子どもになったレムナントは、これから、いつでも、どこでも、なにをしても、王の祝福を味わうことができます。

私を家系と学校と教会を生かす代表として呼んでくださって、本当にありがとうございます。私を通して、多くの人義と認められるように。永遠の王であるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう



ビジョンをにぎろう！

サムエルとダビデ、そして、ソロモンが受けたそれぞれのビジョンを見つけて線をつなげてみよう



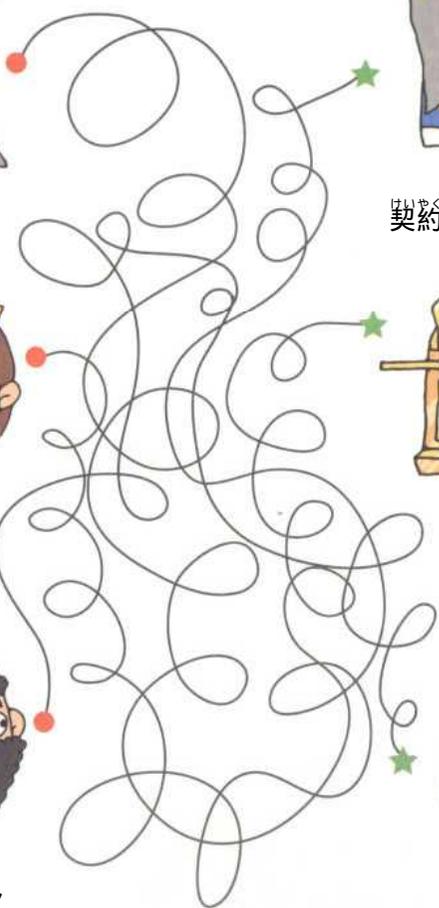
サムエル



ダビデ



ソロモン



契約の箱と神殿建築を指示されました



契約の箱の横でねて
ビジョンを夢見ました。



契約の箱の奥義を
伝えてもらいました

木曜日

20

きょうのみことば

Ⅰペテロ 3:1~7

同じように、妻たちよ。自分の夫に服従しなさい。たとい、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって、神のものとなるようになるためです。

同じように、夫たちよ。妻が女性であって、自分よりも弱い器だということをわきまえて妻とともに生活し、いのちの恵みとともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。それは、あなたがたの祈りが妨げられないためです。

(1,7)

神様の計画 = 結婚

1+1=2です。しかし、1+1=2ではないことがあります。結婚です。結婚は遠い未来の話ではありません。今から少しずつすばらしい結婚と家庭生活を準備しなければなりません。

1. 神様の命令である結婚

神様のかたちを持った男と女が会って家庭を作りました。それで、結婚自体に神様の最高の計画があります。しかし、人は完全でないから、夫と妻はたがいに助ける相手として、いっしょにしなければなりません。妻は夫をキリストにするようにしなければならず、夫はキリストが教会のためにからだを捨てたように、妻のために犠牲になります。

2. 私の家の家長はイエス・キリスト

家庭で受けなければならないもっとも大きい祝福は、キリストが家長になる祝福です。家庭でどんなことをしても、キリストの中からはじまって、進行して、仕上げをすれば、その時から家庭と家系をかこんでいた暗やみの勢力は逃げて、のろいは消えます。

3. 幸せな結婚のための3つの練習

レムナントのみんなは、幸せな結婚のための練習をはじめましょう。最初に、みことばをいっしょにわかちあう練習をしてみましょう。いっしょにみことばをわかちあう時、神様が恵みをあたえてくださいます。二つ目、本を読んでいっしょに話をわかちあいましょう。これは成功者ならば、みなそろえている習慣です。三つ目、私に向かった神様の計画を話してみましょう。この時、私と私が作る家庭と、私からうまれる子どもを神様が祝福してくださいませ。

私の家の家長はイエス・キリストです。私の家庭を導いて、守ってください。そして、私と結婚する相手に恵みをあたえてくださって、福音の中でよく育つようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



神は、愛に、そのひとりをとお写えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりととして滅びることなく、永遠のいのちを待つためである。神が御子を世に遣わされたのは、

世をさばくためではなく、御子によって

世が救われるためである。

御子を信じる者はさばかれない。

信じていない者は神のひとりと子の御名を信じなかつたので、すでにさばかれています。



イエス様の救えを受けたニコデモは家に帰りました。そして、イエス様が十字架で死なれた日に、没薬とアロエを混ぜたものを持ってきて、ユダヤ人のやり方にしたがって、イエス様を、香料といっしょに亜麻布で巻いて、葬式を行いました。

イエス様におはなす



パリサイ人の中に、ニコデモという人がいました。彼はユダヤ人の指導者の中のひとりでした。ある日の夜、ニコデモは、イエス様をたずねてきました。

「先生(ラビ)、私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられるのでなければ、あなたがなさるこのようなるしは、だれも行いうことはできません」

とニコデモが話しました。するとイエス様が答えられました。

「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません」

ニコデモは、びっくりしました。人が新しく生まれる
ということばを理解することができなかつたからです。

「人は、老年になつていて、どのようにして生まれることができる
のですか。もう一度、母の胎に入つて生まれることができましょうか」
イエス様が答へられました。

「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によつて
生まれなければ、神の國に入ることが

できません。例によつて生まれた者は
例です。御霊によつて生まれた者は

霊です。あなたがたは新しく

生まれなければならぬ、

とわたしが言ったことを

不思議に思つてはなりません。

風はその思いのままに吹き、

あなたはその音を聞くが、

それがどこから来てどこへ

行くかを知らない。御霊によつて

生まれる者もみな、そのとおりでです。」



2



イエス様のことばを理解することができなかつたニコデモは、
イエス様にもう一度、たずねました。

「どうして、そのようなことがありうるのでしょうか。」

するとイエス様がおっしゃいました。

「あなたはイスラエルの教師でありながら、こういうことがわからないのですか。

まことに、まことに、あなたに告げます。わたしたちは、知つて話を話し、

見たことをあかししているのに、あなたがたは、わたしたちのあかしを受け入れ

ません。あなたがたは、わたしが地上のことを話したとき、信じないくらいなら、

天上のことを話したとて、どうして信じるでしょう。だれも天に上つた者は

いません。しかし天から下つた者はいます。すなわち人の子です。モーセが荒野で

蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。それは、信じる

者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」

3

金曜日

21

きょうのみことば

1サムエル 17:1-47

ついで、ダビデは言った。「獅子や、熊の爪から私を救い出してくださった主は、あのペリシテ人の手からも私を救い出してくださいます。」サウルはダビデに言った。「行きなさい。主があなとともにおられるように。」(37)

ひとりでいる時間に きりつ 規律をそなえましょう

ダビデは大きなゴリヤテ将軍の前に出ていくことをおそれませんでした。なぜなら、ふだんに羊を守っていると、獅子や熊が羊を食べにやってくるのがあったからです。ひとりでいる時間に、牧場で神様のみことばを黙想して、石を投げる練習を十分にしていたダビデは、簡単にゴリヤテを倒すことができたのでした。

1. ひとりでいる時間に重要な習慣を持つようにしましょう

成功したレムナントは、ひとりいる時間に、未来を左右する重要な習慣を持つようになりました。レムナントが世の中に出て行って成功しようとするなら、そのような人々のように、神様があたえられる力を受ける「ひとりでいる時間」を持たなければなりません。

2. ひとりでいる時間によい習慣を持ちましょう

ひとりでいる時間に、五つのよい習慣を持ちましょう。ひとつ目は、祈りの習慣を持ちましょう。ひとりでいる時間に、定刻で、常時で祈れば、世界を動かせます。二つ目、本を読む習慣を持ちましょう。ひとりでいる時間に本を読む人は、かならず成功します。三つ目、専門性をそえる習慣を持ちましょう。ひとりでいる時間に、自分の専門性についてのビジョンをにぎって、少しずつ準備してみるなら、ある日、その分野で最高の人になっています。四つ目、運動する習慣を持ちましょう。いくら優れた人だといっても、健康でなくなれば何もすることができません。それで、ひとりでいる時間に運動をしなければなりません。五つ目、時間を管理する習慣を持ちましょう。成功した人は、ひとりでいる時間に計画をたてながら時間を大切にしました。レムナントも、そのような人たちのように時間を大切にしなければなりません。

神様、今日のみことばを通して、ひとりでいる時間がどれほど重要なのか知ることができました。ひとりでいる時間によい習慣をもつことができるように導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



20日(土)

出会いのためのいのり

風がさらさらとすずしく吹く野原で、あちこちに羊が平和に草を食べています。ダビデは、今日は大きな木の下の石にすわって羊たちを見ながら、深い考えをしていました。

「羊たちは、なぜ、ぼくを信じてついてくるのかな？せまい道も通り、広い道も通っても、なにもうたがわずに、ぼくについてくる理由はなんだろう。羊飼いだからだろうか。ぼくも、羊たちのように羊飼である神様のみことばにしたがって生きていかなくては、

神様、ぼくの必要をごぞんじで、必要におうじて、いつも満たしてくださって、感謝します。神様がごらんになって、いちばんよいと思われるところに、ぼくを導いてください。ぼくは、いつもぼくを導いてくださる神様を賛美して、人々に神様の愛を伝えます。

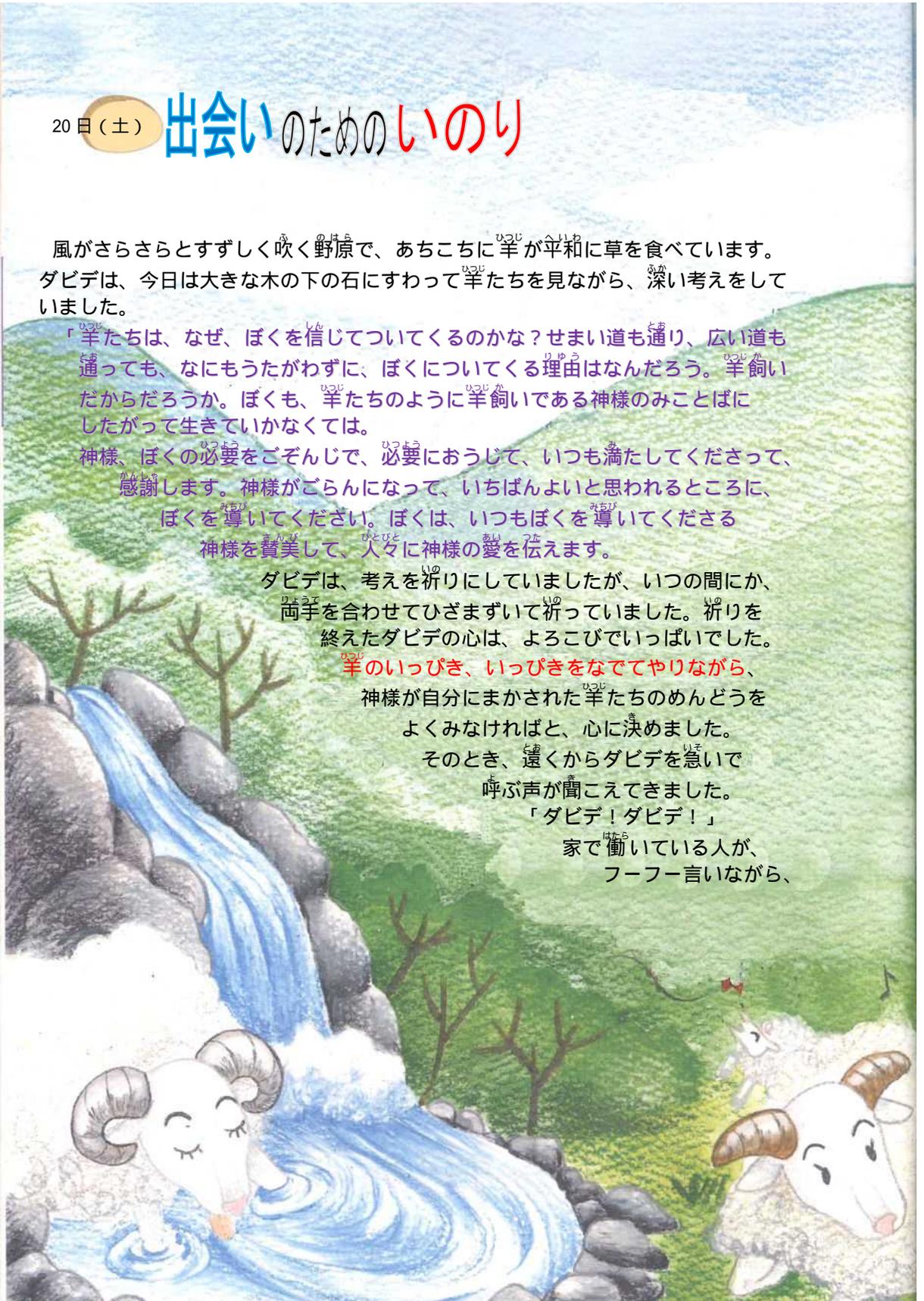
ダビデは、考えを祈りにしていましたが、いつの間にか、両手を合わせてひざまずいて祈っていました。祈りを終えたダビデの心は、よろこびでいっぱいでした。

羊のいっぴき、いっぴきをなでてやりながら、神様が自分にまかされた羊たちのめんどうをよくみなければと、心に決めました。

そのとき、遠くからダビデを急いで呼ぶ声が聞こえてきました。

「ダビデ！ダビデ！」

家で働いている人が、フーフー言いながら、



ダビデに向かって走ってきました。ダビデの^{かた}脰をつかんで、ハアハア息をきらしながら、急ぎの^{いそ}ことばを伝えました。

「ダビデ！ハアハア。^{いそ}急いで家にすぐに帰ってくれ！ハアハア。今、^{よげんしゃ}預言者サムエルが来られて、あなたが来るまでじっと^{まち}待っておられるから。ハアハア」

「^{よげんしゃ}預言者サムエルが、ぼくの家に来られて、ぼくを^{さが}探しておられるって。なぜ？」

「フーフー。^{わたし}私も知らない。お兄さんたちを^{しゅんぱん}順番に呼ばれていたお父さんが、あなたを^よ呼んで来いと言われたので。行ってみて。はやく！」

ダビデは、頭をかしげながら、^{ひつじ}羊を守るための^{つえ}杖を、来た人に^{わた}渡しました。そして、家に向かって走りはじめました。息が切れてしまうまで、走りに走って家に^{とうちやく}到着しました。

ダビデが家に到着したとたん、お父さんは、^{よげんしゃ}預言者サムエルにダビデを^{しょうかい}紹介しました。

^{よげんしゃ}預言者サムエルは、ダビデをしばらく^{みつ}見つめていました。そして、言いました。

「神様があなたをイスラエルの王に^{えら}選ばれた」

^{よげんしゃ}預言者サムエルは、^{じゆんび}準備してきていた^{あぶら}油をダビデの頭にそそぎました。

ダビデは、^{よげんしゃ}預言者サムエルのことばの^{ひとこと}一言、^{ひとこと}一言をすべて神様の声だと^{しん}信じました。そして、少し前に神様にささげた^{いのち}祈りを思い出しました。

「神様がぼくの^{いのち}祈りを聞いてくださって、このように^{さいわ}幸いな出会いと、おどろくようなことをあててくださったんだな！

ぼくを^{みちび}導いてくださる神様をほめたたえます。

ハレルヤ！」

◆^{ていにくいの}定刻祈りの^{てんけん}点検：

昼 12 時

教会のために^{いのち}祈りましょう。

夜 9 時

RUTC のために^{いのち}祈りましょう